

加茂市・南蒲原郡「生活科」活動報告

加茂市加茂小学校 教諭 北村 栄子

「一人一人の思いや願を育むための教材開発」

1 はじめに

今年度は、「活動計画立案（5月）」「教育課程伝達講習会（8月）」「実技講習会（10月）」の3回の活動を行った。以下、10月に行った実技講習会についてその概要を記していく。

2 実技講習会

- (1) 期日 10月14日（金） 15：30～16：45
- (2) 会場 加茂地区理科教育センター（加茂小学校内） 実験室
- (3) 参会者 生活科部員 7名
- (4) 内容 実技講習会「秋の植物や木の実を使った遊びと、おもちゃづくり」
講師 見附市立理科教育センター 専任所員 舘岡 信男 様

3 研修の概要

昨年度は、加茂山公園をフィールドにして里山の植物について研修した。今年度はその植物を使ったおもちゃづくりを研修し、普段の生活科の授業に生かしたいという意見が出された。そこで、見附市立理科教育センターの専任所員である、舘岡信男先生を講師として迎え、実技講習会を行った。

まず、今回の研修内容が、学習指導要領の目標や内容とどのようにかかわっているかをご指導いただいた。次に、用意された木の実について、その名前と特徴を一つ一つ詳しく説明していただいた。また、近郊ではどのあたりにたくさん採取することができるかも教えていただいた。

その後、木の実を使ったおもちゃ作りの実習を行った。舘岡先生から、蒸したどんぐりなどの多種多様な木の実、様々な形の木の材料、たくさん木工材料をご準備いただき、作業がとてもスムーズに進んだ。部員は、ヤジロベエや木の実のこけし、人形などを意欲的に制作した。



4 研修を振り返って

今回の研修で、子どもたちの「自分で作ってみたい」という意欲を損なわないように扱いやすい形で材料を準備することや、材料や道具の特徴を知り、安全面に細心の注意を払うことなど、学習を行う上で大切なポイントを学ぶことができた。そして何より、実際に作ってみることで、身近なものを使ったモノづくりの楽しさを味わうことができた。

おもちゃ作りに没頭する部員